

7

紙づまりを除去する

紙づまりを防ぐためのヒント

以下の手順に従うことで紙づまりを防ぐことができます。

- 推奨用紙または専用紙のみを使用する（⇒「用紙についてのガイドライン」）。
- 用紙を正しくセットする（⇒「用紙をセットする」）。
- 用紙を積み重ねすぎない。重ねた用紙の高さが、カセットのセットラインラベルで示されている高さ制限を超えないようにしてください。
- しわ、折り目、湿気を含む用紙、あるいは丸まった用紙はセットしない。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。
- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙の大きさ、重さ、種類が異なる用紙を1つのカセットにセットしない。
- 推奨用紙のみを使用する（⇒「使用できない用紙」）。
- すべてのカセットを片面印刷用にセットする場合は、推奨される印刷面が上になるようにセットする。
- 多目的フィーダや手差しフィーダにセットする場合は、推奨される印刷面が下になるようにセットする。
- 適切な環境で用紙を保存する（⇒「用紙を保管する」）。
- 印刷ジョブ中にカセットを取り外さない。トレイに用紙をセットするように指示するメッセージまたは【準備完了】が表示されたからトレイを取り外してください。
- 印刷中は手差しフィーダに用紙をセットしない。紙づまりの原因になります。【手差しフィーダに下記<x>】と表示されるまで待ってください。
- 用紙をセットしたらすべてのカセットをしっかりと押し込む。
- カセットのガイドがセットした用紙の大きさに合った正しい位置にあることを確認する。ガイドが用紙をきつく挟みすぎていないことを確認してください。

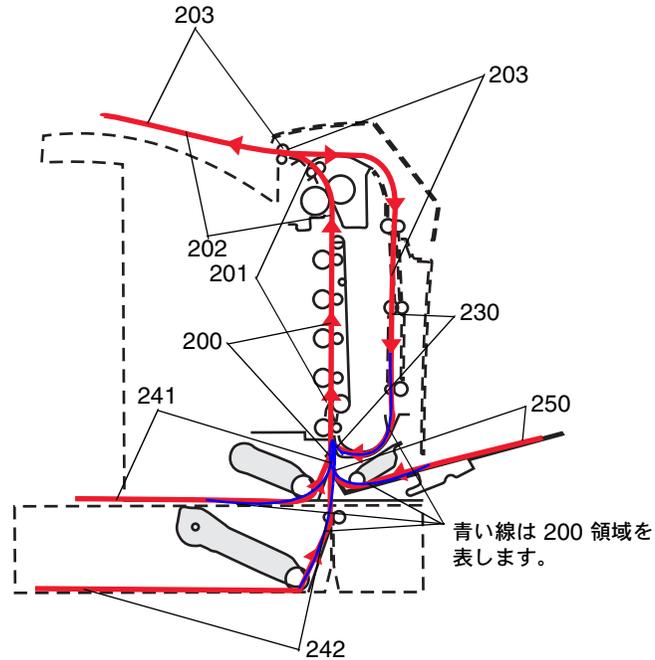
紙づまりを除去する

- カセットの用紙のサイズが、操作パネルで選択したサイズ設定と一致していることを確認する。
- プリンタに接続されているすべてのケーブルが正しく接続されていることを確認する (⇒『セットアップシート』)。

用紙経路を確認する

以下の図に、プリンタ内部を用紙が通過する経路を示します。経路は、用紙の挿入場所（カセット 1 またはカセット 2）と、両面印刷ジョブを送信中かどうかによって異なります。

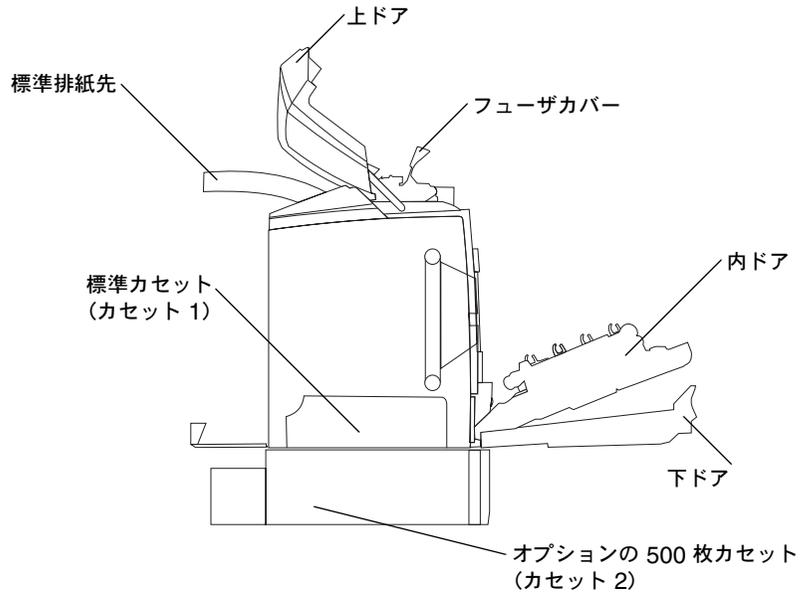
紙づまりが発生すると、紙づまりの場所を示すメッセージが表示されます。紙づまり関連の 3 桁の番号を以下の図に示します。この 3 桁の紙づまり番号と、紙づまりの場所の説明については、**66** ページの表を参照してください。



紙づまりを除去する

紙づまり箇所へのアクセス

ドアとカバーを開いてカセットを取り外し、紙づまり箇所へアクセスします。以下の図に紙づまりする可能性のある場所を示します。



紙づまりを除去する

特定の紙づまりに対する手順については、以下の表を参照してください。

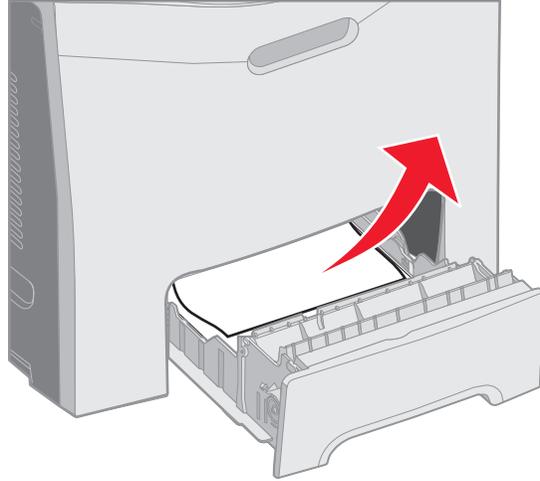
メモ：メッセージを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

操作パネルのメッセージ	紙づまりの場所	紙づまりを除去する場所	参照ページ
200.xxx 紙づまり	給紙センサ	カセット 1 の直後	67
		カセット 1 とカセット 2 の間	69
		内ドアの後ろ	69
		4 つの感光体ユニットの下	70
		カセット 1	76
200.xxx 紙づまり	手差しフィーダ	手差しフィーダ	77
201.xxx 紙づまり	給紙センサとフューザ排紙センサの間	4 つの感光体ユニットの下	70
		4 つの感光体ユニットの下。つまっている用紙を取り除くには、感光体ユニットを取り外す	70
		フューザの下	71
		フューザカバーの下	72
202.xxx 紙づまり	フューザ排紙センサのあと	一部はフューザの下。一部はフューザの後ろのスロットからはみ出している	72
		フューザと標準排紙先の間	73
203.xxx 紙づまり	両面印刷の折り返し場所	フューザ近くのローラーの下	74
230.xxx 紙づまり	両面印刷の場所	上ドアと内ドアの間	75
		カセット 1	76、76
		両面印刷の用紙折り返し中にカセット 1 に入り込んでいる	76
241.xxx 紙づまり	カセット 1	カセット 1	67
242.xxx 紙づまり	カセット 2	カセット 2	68
		カセット 1 とカセット 2 の間	68
250.xxx 紙づまり	多目的フィーダ	多目的フィーダ	77

標準カセット（カセット 1）の紙づまりを除去する

標準カセットから用紙が正しく給紙されなかった場合は、カセット 1 で紙づまりが発生しています。操作パネルには「241.xxx 紙づまり」と表示されます。

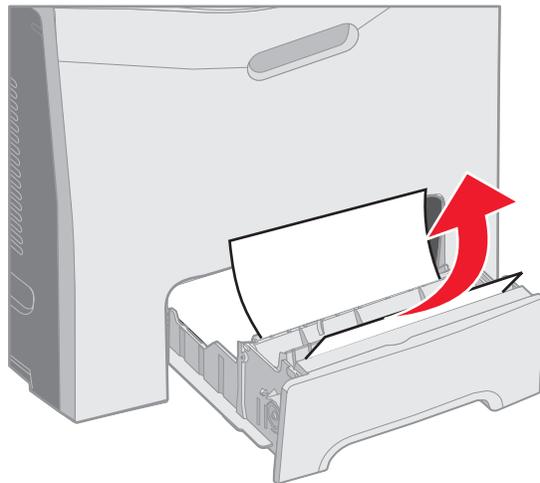
- 1 標準カセットを開きます。
- 2 つまった用紙を引き出します。



- 3 カセットを挿入します。

カセットから用紙が給紙されても、カセット 1 の直後につまった場合は「200.xxx 紙づまり」と表示されます。

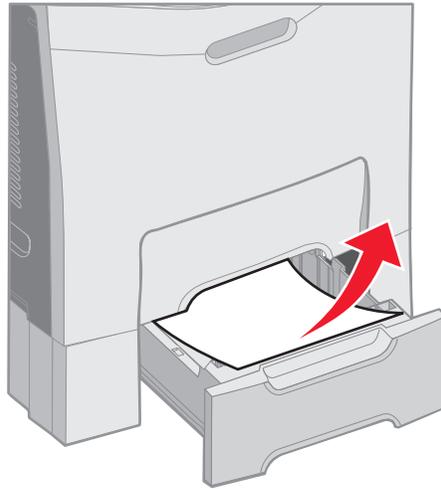
- 1 標準カセットを開きます。
- 2 つまった用紙を引き出します。カセットを挿入します。



オプションの 500 枚カセット（カセット 2）の紙づまりを除去する

オプションの 500 枚カセット（カセット 2）から用紙が正しく給紙されなかった場合は、カセット 2 で紙づまりが発生しています。操作パネルには、「242.xxx 紙づまり」と表示されます。

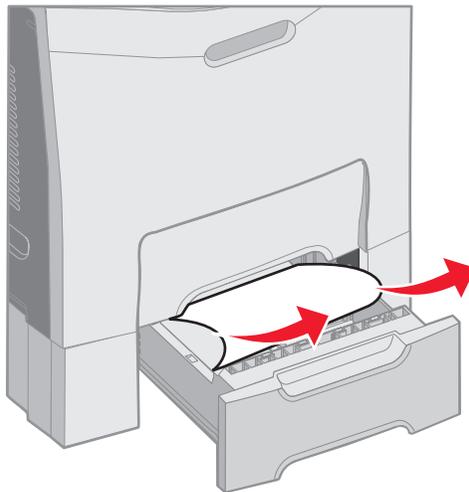
- 1 オプションの 500 枚カセットを開きます。
- 2 つまった用紙を引き出します。



- 3 カセットをサポートユニットに挿入します。

カセット 2 から用紙が給紙されたが、用紙経路のカセット 1 とカセット 2 の間でつまった場合も、操作パネルに「242.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 オプションの 500 枚カセットを開きます。
- 2 つまった用紙の両端をしっかりとつかみ、破れないようにゆっくりと引き出します。

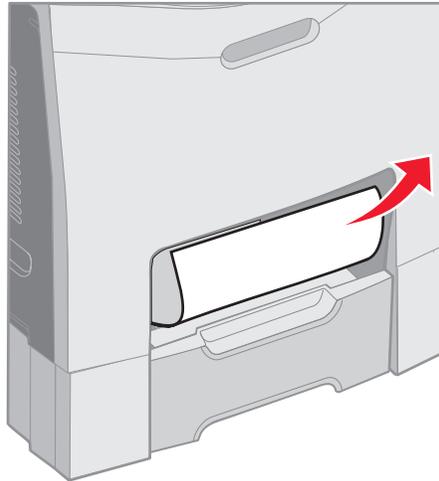


- 3 カセットをサポートユニットに挿入します。

紙づまりを除去する

カセット 2 から用紙が給紙されても、用紙経路のカセット 1 とカセット 2 の間でつまった場合は、操作パネルに「200.xxx 紙づまり」と表示されることがあります。その場合は、以下の手順で紙づまりを除去します。

- 1 標準カセットを取り外します。
- 2 つまった用紙を上を持ち上げ、カセットから取り出します。



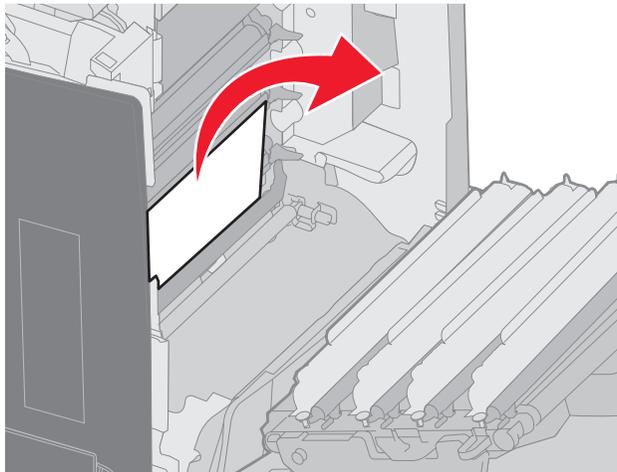
- 3 カセットを挿入します。

内ドアの後ろの紙づまりを除去する

紙づまりが、感光体ユニットの下ではなく、内ドアの後ろで発生しています。操作パネルには、「200.xxx 紙づまり」と表示されます。

警告： 紙づまりを除去する際、感光体ユニットが露光しすぎないようにするため、内ドアを 10 分以上開いたままにしないでください。

- 1 上ドアと内ドアを開きます。内ドアを開くと下ドアも開きます。
- 2 つまった用紙を上を持ち上げて取り出します。



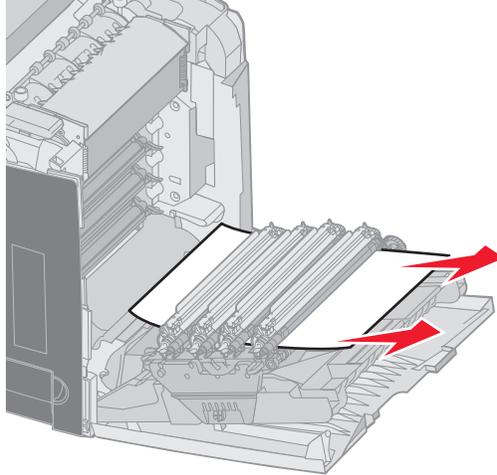
- 3 下ドアを閉じます。これで内ドアも閉じます。上ドアを閉じます。

紙づまりを除去する

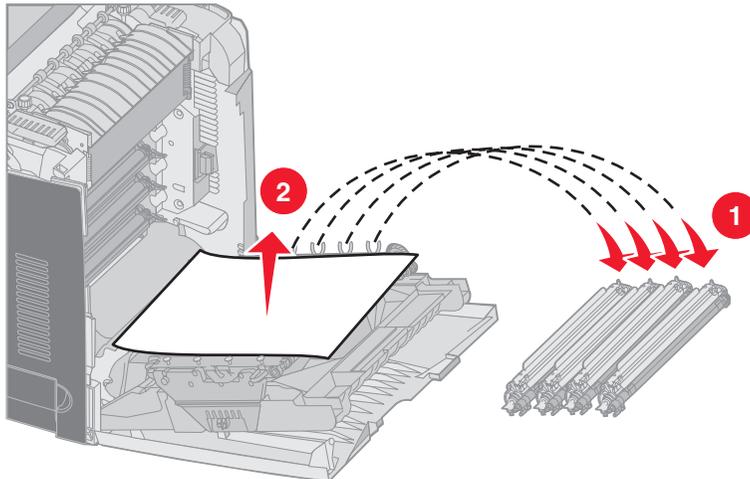
紙づまりが感光体ユニットの下で発生しています。操作パネルには、「200.xxx 紙づまり」または「201.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 上ドアと内ドアを開きます。内ドアを開くと下ドアも開きます。
- 2 用紙を前方にまっすぐ引き出して取り外します。

メモ：感光体ユニットが外れないように注意してください。



- 3 用紙を引き出せない場合は、4つの感光体ユニットをすべて取り外します（取り外しかたについては、31ページの図を参照）。つまった用紙を取り除いてから、感光体ユニットを取り付けなおします。



- 4 下ドアを閉じます。これで内ドアも閉じます。上ドアを閉じます。

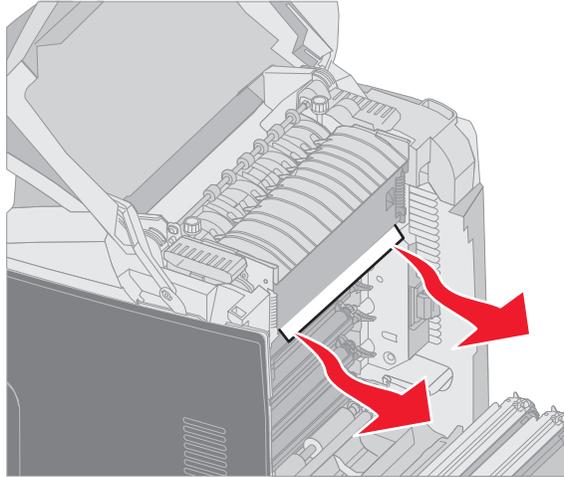
フューザまたはフューザカバーの下の紙づまりを除去する

注意： フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。フューザの温度が下がってから、この部分の紙づまりを除去してください。

つまった用紙は、フューザまたはフューザカバーの下にあります。操作パネルには、「201. ~~xxx~~ 紙づまり」と表示されます。

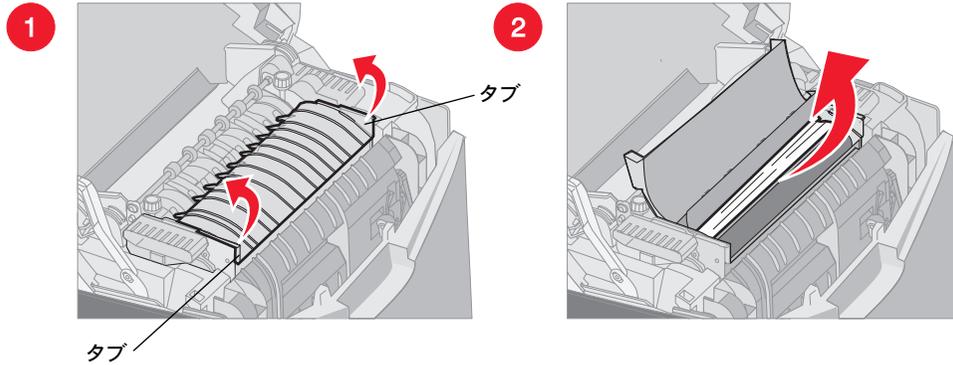
警告： 紙づまりを除去する際、感光体ユニットが露光しすぎないようにするため、内ドアを 10 分以上開いたままにしないでください。

- 1 上ドアと内ドアを開きます。内ドアを開くと下ドアも開きます。
- 2 紙づまりが発生している場所を特定します。
 - a フューザの下につまった用紙が見える場合は、用紙の両端をしっかりとつかんで前方に引き出します。



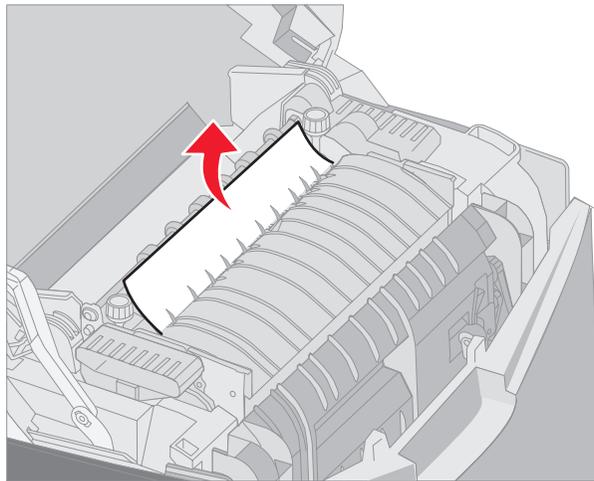
紙づまりを除去する

- b つまった用紙が見えない場合は、フューザカバーのタブをしっかりとつかんで持ち上げます。つまった用紙をしっかりとつかみ、上に引き出します。フューザカバーを閉じます。



つまった用紙の一部がフューザの下にあり、一部がフューザの後ろのスロットからはみ出している場合は、操作パネルに「202.xxx 紙づまり」と表示されます。

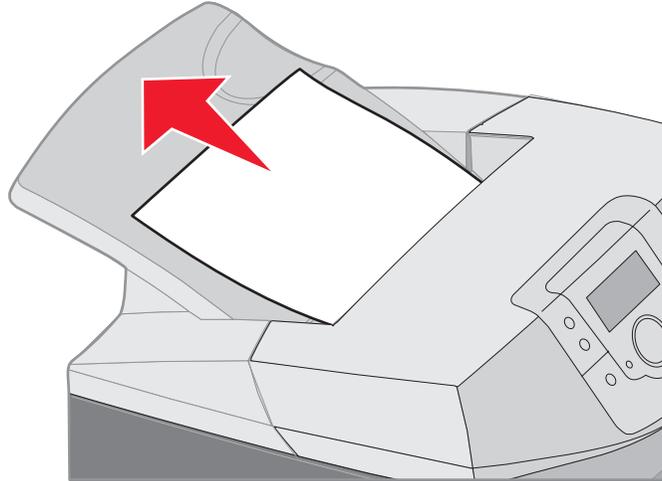
警告： つまった用紙が以下の図に示した位置に見える場合は、用紙をゆっくりと持ち上げ、プリンタの後ろの方へ引き出します。



- 3 下ドアを閉じます。これで内ドアも閉じます。上ドアを閉じます。

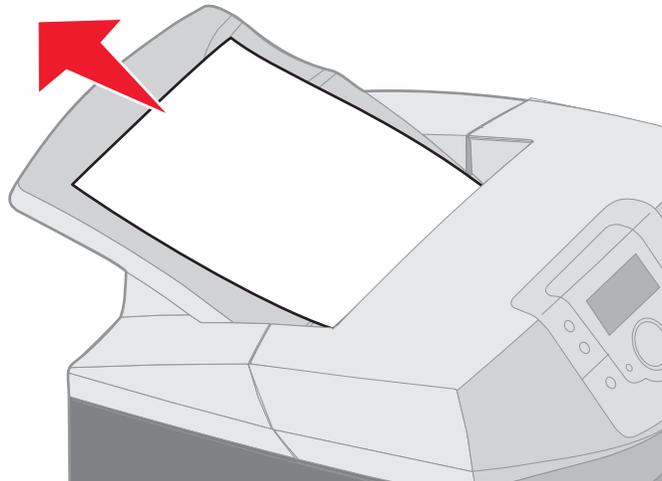
フューザと標準排紙先の中の紙づまりを除去する

つまった用紙は標準排紙先から見えています。操作パネルには、「202.xx 紙づまり」と表示されます。
つまった用紙をしっかりとつかんで、トレイから後ろの方へ引き出します。



標準排紙先の紙づまりを除去する

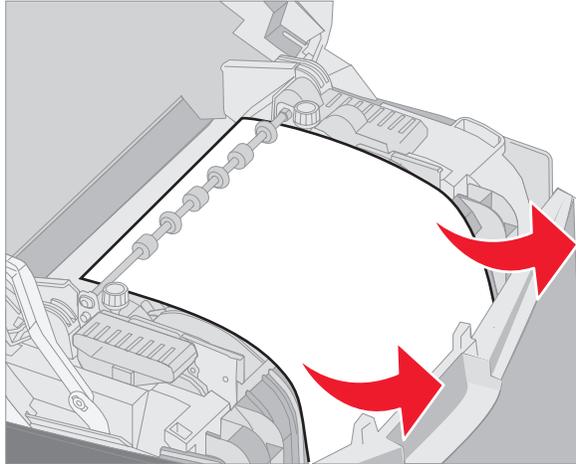
つまった用紙は標準排紙先にあります。操作パネルには、「203.xx 紙づまり」と表示されます。
つまった用紙をしっかりとつかんで、トレイから後ろの方へ引き出します。



両面印刷経路の紙づまりを除去する

つまった用紙は、フューザ近くのローラーの下にあります。操作パネルには、「203.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 上ドアを開きます。
- 2 つまった用紙の端をしっかりとつかみ、ゆっくりと引き出します。

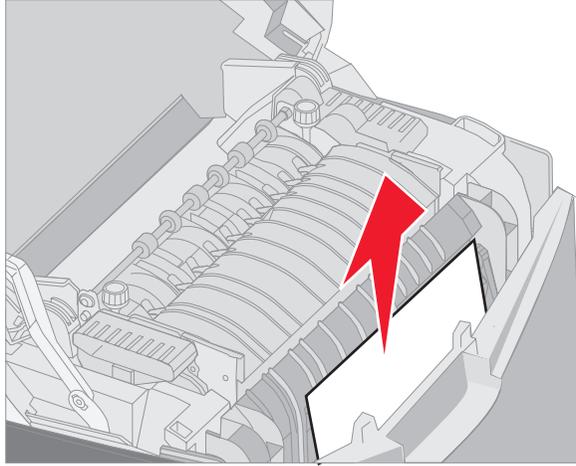


- 3 上ドアを閉じます。

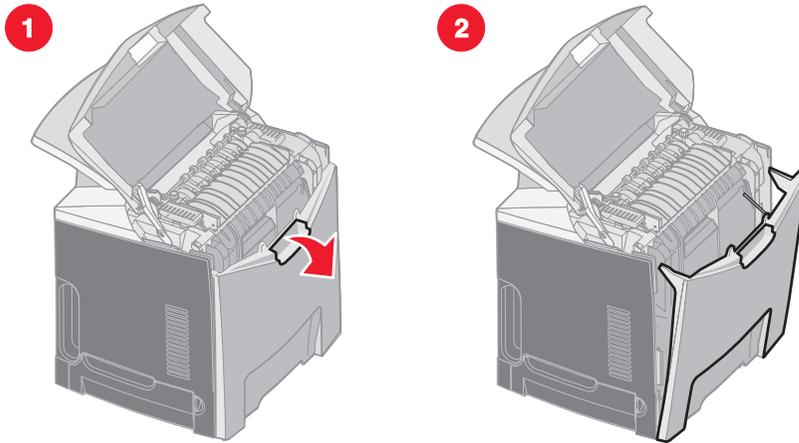
紙づまりを除去する

用紙が下ドアと内ドアの間につまっている場合は、操作パネルに「230.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 上ドアを開きます。
- 2 つまった用紙を上にもっすぐ引き出します。



メモ：上ドアを開いてもつまった用紙がほとんど見えない場合は、下ドアも開いて紙づまりを調べます。内ドアを開かずに下ドアを開くには、下ドアのハンドルを引きます。内ドアのハンドルは引かないでください。引くと、内ドアと下ドアの両方が一緒に引き下げられます。

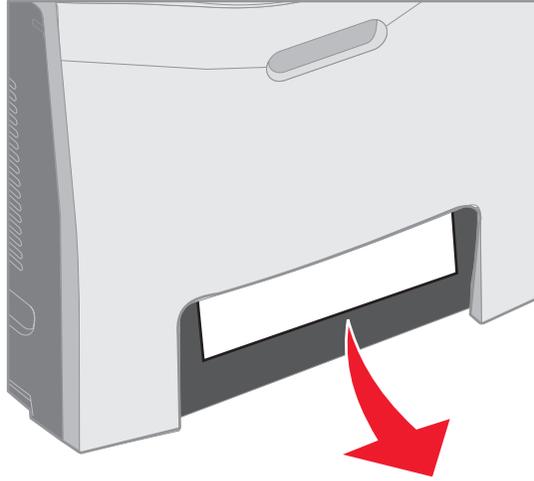


- 3 ドアを閉じます。

紙づまりを除去する

つまった用紙が標準カセット（カセット 1）に入り込んでいる場合は、操作パネルに「230.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 標準カセットを取り外します。
- 2 つまった用紙を下に引いて取り出します。

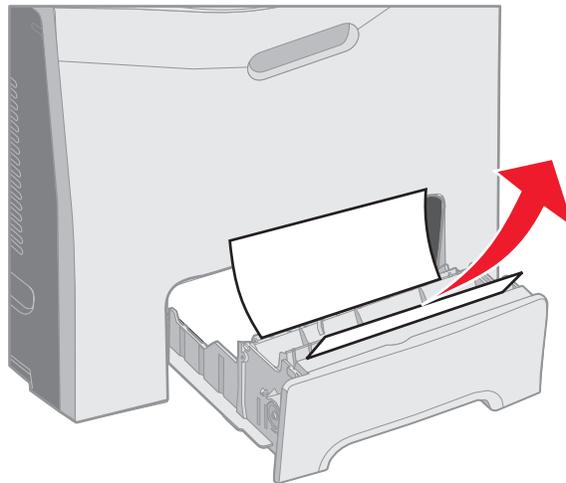


- 3 標準カセットを取り付けます。

つまった用紙は標準カセット（カセット 1）にあります。操作パネルには、「200.xxx 紙づまり」または「230.xxx 紙づまり」と表示されます。

- 1 標準カセットを取り外します。
- 2 つまった用紙を上に戻すすぐ引き出します。

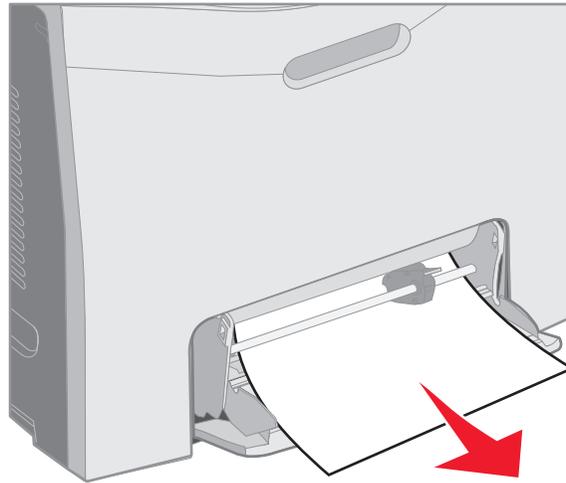
メモ：この場所に用紙が見えない場合は、カセットを完全に引き出してください。上ドアと下ドアの後ろで紙づまりが発生していないかどうか確認してください。



- 3 標準カセットを取り付けます。

多目的フィーダの紙づまりを除去する

紙づまりが多目的フィーダで発生しています。操作パネルには、「250.xx 紙づまり」と表示されます。



手差しフィーダの紙づまりを除去する

手差しフィーダに用紙が十分挿入されていない場合は、用紙の挿入を求めるメッセージが操作パネルに表示されます。この場合は、用紙をフィーダのさらに奥まで押し込んでください。

プリンタが感知する位置まで手差しフィーダに用紙を押し込んでも給紙されない場合は、操作パネルに「200.xx 紙づまり」と表示されます。

用紙をフィーダのさらに奥まで押し込んでください。

